

## 大学院の目的

---

駒澤大学の建学の理念は、仏教、特に禅の理念に基づく人間形成を真の目的としている。この建学の理念のもと、「行学一如」を校是として、学問と実践の一致に努めている。本大学院も、大学院が専門知識の習得という真理探求の場であると同時に、普遍的な教養を身につける人格の陶冶に努めるという人間形成の場であることを心掛けています。このような建学の理念を踏まえ、高度にして専門的な学術の教育並びに研究に励み、新世紀を担うに足る人材を養成することを本大学院の目的としている。

本大学院の課程は、修士課程および博士後期課程からなる。

### ◆修士課程

修士課程においては、広い視野に立って精深な学識を授け、専門分野における研究能力、および高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を養うことを目的とする。

### ◆博士後期課程

博士後期課程においては、専門分野の研究者としての自立的な研究能力、およびその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力を養うことを目的とする。

## 他系統学部出身者に対する配慮について

---

- (1) 他系統学部出身者には、当該専攻の基礎学部出身と同等の基礎学力を充足させるため、指導教員が必要と認めた場合、在学中、大学院の正規授業科目以外に学部で開講している関連基礎科目の特別履修を課すことがあります。
- (2) 他系統学部出身者とは、次に示す者をいいます。
  - ① 仏教学専攻にあつては、本学仏教学部以外の出身者
  - ② 公法学・私法学専攻にあつては、法学部以外の出身者（法学部政治学科等の出身者も法学部出身者として扱う）
  - ③ 他の研究科（専攻）にあつては、当該研究科（専攻）の基礎となるべき学部・学科以外の出身者

# 大学院入学試験実施区分表

研究科	専攻	課程(コース)	9月試験						2月試験					
			一般			社会人特別	外国人留学生	一般			社会人特別	外国人留学生		
			一 学内推薦	飛 び入 学	早 期 卒 業			一 学内推薦	飛 び入 学	早 期 卒 業				
人文科学	仏教学	修士	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	国文学	修士	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	英米文学	修士	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	地理学	修士	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	歴史学	修士	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	社会学	修士	○	○	-	-	-	○	○	○	-	-	-	○
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○
心理学	修士 (心理学コース)	○	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	
	修士 (臨床心理学コース)	○	-	○	○	-	-	○	-	○	○	-	-	
	博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
経済学	経済学	修士 (研究コース)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
		修士 (税制・財務コース)	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	-	-
		修士 (キャリアアップ・コース)	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○
商学	商学	修士	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
法学	公法学	修士	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	私法学	修士	○	○	-	-	○	○	○	○	○	○	-	○
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
経営学	経営学	修士	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	○
		博士後期	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
医療健康科学	診療放射線学	修士 (診療画像学コース)	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
		修士 (医用計測学コース)	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
		博士後期 (診療画像学コース)	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
		博士後期 (医用計測学コース)	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-

※修士課程・博士後期課程いずれも過去問題の公表は駒澤大学入学センターで行います。

※専攻別学内推薦入学試験要項は、駒澤大学教務部5番窓口で配布します。

# 一般入学試験要項

## 1. 募集人員

研究科	専攻（コース）		修士課程			博士後期課程
			9月試験	2月試験	計	2月試験
人文科学	仏教学		○	○	20名程度	5名程度
	国文学		○	○	5名程度	2名程度
	英米文学		○	○	5名程度	2名程度
	地理学		○	○	5名程度	2名程度
	歴史学	日本史学	○	○	15名程度	6名程度
		東洋史学 (注1)				
		西洋史学				
		考古学				
社会学		○	○	5名程度	2名程度	
心理学	心理学	○	○	5名程度	2名程度	
	臨床心理学	○	○	5名程度		
経済学	経済学 (注2)	研究	○	○	10名程度	2名程度
		税制・財務				
商学	商学		○	○	15名程度	2名程度
法学	公法学		○	○	5名程度	2名程度
	私法学		○	○	5名程度	2名程度
経営学	経営学		○	○	10名程度	2名程度
医療健康科学	診療放射線学	診療画像学	○	○	10名程度	3名程度 (注3)
		医用計測学				

注1. 平成24年度は東洋史学コースの博士後期課程は募集しません。

2. 各コースについては、駒澤大学ホームページを参照してください。

3. 医療健康科学研究科博士後期課程は、9月試験・2月試験ともに実施いたします。

## 2. 試験日程

	出願期間	試験日		合否発表
		1日目	2日目	
9月試験	平成23年 8月18日(木) ┆ 8月24日(水) 【当日消印有効】	平成23年 9月24日(土)	平成23年 9月25日(日)	平成23年 10月1日(土) 【速達発送】
2月試験	平成24年 1月20日(金) ┆ 1月26日(木) 【当日消印有効】	平成24年 2月25日(土)	平成24年 2月26日(日)	平成24年 3月3日(土) 【速達発送】

## 3. 出願資格

### ■修士課程

以下のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者(早期卒業者を含む)又は平成24年3月31日までに卒業見込みの者(早期卒業見込み者を含む)
- (2) 大学評価・学位授与機構により学士の学位を授与された者又は授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成24年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成24年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成24年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成24年3月31日までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に3年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本大学院において認めた者(※飛び入学制度)
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、当該者をその後に入学者とする本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 個別の出願資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院において認めた者で、平成24年4月1日において22歳に達した者
- (11) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

### ※飛び入学制度について

飛び入学制度による出願を受付ける研究科(専攻)については、2ページの「大学院入学試験実施区分表」で確認してください。

この出願を希望する者は在籍する大学の成績証明書および単位修得見込証明書の提出が必要となります。

この出願を希望する本学在校生は出願資格の審査を実施しますので事前に教務部5番窓口まで申し出てください。なお、これにより出願することができる者は、次の①、②、③のすべての条件を満たす者とします。

- ①平成24年3月31日において、大学に3年以上在学する者。ただし、休学期間は在学年数に算入しません。
- ②平成24年3月31日までに卒業所要単位のうち、90単位以上修得見込みの者
- ③出願時までに単位を修得した総単位数の70%以上が在学する大学の優良な評価(点数評価で100点満点中80点以上に相当する評価)を得ている者

ただし、入学試験に合格した後、上記の出願資格の①、②を満たすことができなかった場合は、入学の許可を取り消します。飛び入学制度により大学院に入学した場合、「大学の学部を卒業していること」を要件としている国の試験その他の資格試験等は受験できなくなります。

※早期卒業者の出願を受付ける研究科(専攻)については、2ページの「大学院入学試験実施区分表」で確認してください。

## ■博士後期課程

以下のいずれかに該当する者

- (1) 修士の学位を有する者又は平成 24 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位またはこれに相当する学位を得た者又は平成 24 年 3 月 31 日までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 個別の出願資格審査をもって、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本大学院において認められた者で、平成 24 年 4 月 1 日において 24 歳に達した者

### 《出願資格に関する注意事項》

- (1) 修士課程の(10)に該当する者とは、主に「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、外国大学日本分校、外国人学校その他の教育施設の修了者、海外の大学(3年制)の卒業生など、大学卒業資格を有していない者」です。  
博士後期課程の(6)に該当する者とは、主に「大学、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生、外国大学日本分校、外国人学校その他の教育施設の修了者、海外の大学(3年制)の卒業生など、大学院修士課程修了資格を有していない者」です。
- (2) 上記の資格により出願しようとする者については、出願資格審査を行いますので、36 ページの「個別の出願資格審査について」を参照してください。

### ※外国人留学生（修士課程・博士後期課程）

外国人留学生として出願できる者は、日本国籍を有さない者、および大学院で教育を受ける目的をもって入国した者、または入国しようとする者で、出願資格の要件を満たす者とします。

## 4. 出願手続

■出願書類（証明書類は3ヶ月以内に作成されたものに限ります）

① 入学試験志願票（A票）	本学所定用紙 写真貼付1枚（最近3ヶ月以内に撮影した上半身正面脱帽無背景のカラー写真、受験時に眼鏡を着用する者は必ず眼鏡をかけたもの縦4cm×横3cm）	
② 入学試験志願票副票（S票）	本学所定用紙	
③ 入学志願書	本学所定用紙	
④ 証明書	修士課程	最終出身大学の卒業（見込）証明書および成績証明書 ただし、大学評価・学位授与機構による学位授与取得（予定）の者は大学評価・学位授与機構長の学位授与（申請受理）証明書 出願資格審査により認定された者は、大学の発行した出願資格認定書等、大学の指定する証明書修士課程修了（見込）の者は、修了（見込）等の証明書および成績証明書も提出してください。
	博士後期課程	修士課程修了（見込）証明書および成績証明書 出願資格審査により認定された者は、大学の発行した出願資格認定書等、大学の指定する証明書 ※博士後期課程満期退学（見込）等の者は、満期退学（見込）等の証明書および成績証明書も提出してください。
⑤ 学歴書	本学所定用紙（志願票と同一の写真1枚を貼付すること）	
⑥ 登録原票記載事項証明書	日本国内に居住する外国人出願者のみ	
⑦ 日本語能力調査書	本学所定用紙	
⑧ 留学経費の支弁方法を証明する書類	本学に留学する際の、諸経費を支弁する方法について証明する書類を提出してください。日本語、英語以外の言語で書かれている場合は、日本語、または英語の訳文を添付してください。（公的機関による証明は不要です。） ア. 本人が支弁する場合 ① 留学経費支弁計画書（本学所定用紙） ② 奨学金受給証明書（該当者のみ） イ. 本人以外が支弁する場合 ① 留学経費支弁計画書（本学所定用紙） ② 経費支弁者作成の経費支弁書（本学所定用紙）	
⑨ その他	各研究科（専攻）により指定した書類 （当該研究科のページを参照してください。万一、提出できない場合はその旨を記載した文書を添付してください）	

### 《出願書類に関する注意事項》

- 上記のうち、日本人出願者は①・②・③・④・⑨を提出してください。外国人留学生は①～⑨の書類を提出してください。
- 各種証明書が、日本語または英語以外の言語で作成されている場合は、日本語訳または英語訳（本人作成可）を添付してください。
- 氏名の変更により証明書等と志願票の氏名が同一でない場合は、同一人物であることを証明できる公的書類（戸籍記載事項証明書、登録原票記載事項証明書等）を提出してください。
- 医療健康科学研究科出願者で大学評価・学位授与機構から学位を授与された者は、併せて学位授与申請に関わる単位修得証明書も提出してください。
- 再入学を希望する者は、必ず、事前に研究科委員長（専攻主任）または在学時の指導教授に相談の上、9月試験は7月12日まで、2月試験は1月12日までに、教務部教務2係（5番窓口、TEL03-3418-9116）で再入学申請書類を受け取ってください。上記の書類および再入学申請書類等を、所定の出願期間内に入学センターに郵送してください。
- 本学の博士後期課程を単位取得退学または満期退学した再入学試験受験者は、博士後期課程の成績証明書及び単位取得退学証明書または満期退学証明書を提出してください。（修士課程に関する証明書は、提出の必要はありません）

## ■入学検定料の納入方法

- (1) 入学検定料は 35,000 円です。
- (2) 入学検定料の振込みは、「9月試験」が平成 23 年 8 月 11 日(木) から 8 月 24 日(水) まで、「2月試験」は、平成 24 年 1 月 13 日(金) から 1 月 26 日(木) まで受付けます。
- (3) 入学検定料は、入学試験志願票に指定の筆記用具を使用して必要事項を記入(43～46 ページの記入例を参照)し、ゆうちょ銀行を除く金融機関から電信扱いで納入してください。納入は現金に限ります。必ず窓口扱いで依頼し、ATM(現金自動預払機)は絶対に利用しないでください。
- (4) 入学検定料を納入した際、入学試験志願票 A 票および C 票(振込金受取書〔志願者保存〕)に収納印が押印されていることを必ず確認してください。特に A 票に押印漏れの場合は、出願書類不備(入学検定料未納)とみなし、受験票の交付ができませんので注意してください。
- (5) 入学試験志願票 A 票は、他の書類とともに提出し、C・D 票は、切り離して紛失しないように保管してください。

## ■出願方法

- (1) 郵送(締切日消印有効)  
所定の出願封筒に必要事項を記入し、必ず郵便局から『書留速達』で送付してください。  
修士論文等が所定の封筒に入りきらないときは、別便(宅配便等)で提出することができます。  
宛先〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 駒澤大学入学センター 大学院入試係
- (2) 出願後の書類記載事項の変更は認めません。
- (3) 受理した出願書類・入学検定料はお返ししません。  
ただし、①出願資格がないとき、②出願書類が未提出の者で、試験日までに返金の申し出があるとき、③所定の納入額より過納入となったときのみ入学検定料をお返しします。

## ■受験票の交付

出願資格を確認し、受験資格を認めた者には下記までに受験票を発送します。  
9月試験…平成 23 年 9 月 7 日(水) 2月試験…平成 24 年 2 月 13 日(月)

## ■受験上の注意事項

- (1) 試験開始時刻 20 分前までに試験室および面接控室に入室してください。
- (2) 心理学専攻では、筆記試験の成績をもとに第 1 次試験合格者を選抜し、面接試験を実施します。第 1 次試験合格発表は、筆記試験当日の午後 4 時に筆記試験の試験室に合格者の受験番号を掲示するとともに駒澤大学のホームページ上でも当日の午後 5 時以降に合格者の受験番号を発表します。(携帯電話には対応していません)  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>
- (3) 「外国語」の辞書使用については持参する書籍 1 冊とし、「電子辞書」などの機器は認めていません。

本学には、身体の機能に障がいのある方のための特別な施設はありません。視覚障がい、聴覚障がい、肢体不自由、病弱(慢性の呼吸器、心臓、腎臓疾患等)等の症状があり、就学環境に特別な支援を必要とされる方は、受験および就学ができない場合があります。必ず出願前に入学センター入試広報課(TEL.03-3418-9734)に相談してください。

## ●各研究科（専攻）試験科目・出願書類

### 人文科学研究科（仏教学専攻）

#### ◆修士課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門試験科目 禅学・仏教学一般	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験

#### ◆博士後期課程

試験日	1日目			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	3時限 14:00～15:10	10:00～
試験科目	専門試験科目 禅学・仏教学一般	外国語試験科目 英語	専門試験科目 漢文（仏典・禅籍）	面接試験
専攻指定の 出願書類	1. 修士論文（日本語で書かれたもの、または日本語に訳されたもの。コピー可） 本学出身者 1部 他大学出身者 3部			

- 注 1. 専門試験科目の問題は受験時に選択してください。  
2. 修士論文の評価を専門試験の点数に加算します。

## 人文科学研究科（国文学専攻）

### ◆修士課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門試験科目 国語学・国文学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験
専攻指定の 出願書類	9月試験	1. 国語学・国文学（日本語学・日本文学）の領域を専門としている卒業見込者は、 執筆予定の卒業論文の要旨を原稿用紙4,000字（400字×10枚）以内にまとめたもの 1部 既卒業者は卒業論文（コピー可） 1部 2. 大学において国語学・国文学（日本語学・日本文学）の領域を専門としていない卒業見込者・既卒者は、研究を希望するテーマに関するレポートを12,000字（400字×30枚）以内にまとめたもの 1部	
	2月試験	1. 本学国文学科出身者は卒業論文の要旨を2,000字（400字×5枚）以内にまとめたもの 1部 他大学国語学・国文学（日本語学・日本文学）の領域を専門とする出身者は卒業論文（コピー可） 1部 2. 大学において国語学・国文学（日本語学・日本文学）の領域を専門としていない修士課程の志願者は研究を希望するテーマに関するレポートを12,000字（400字×30枚）以内にまとめたもの 1部 ※ 上記1. の志願者で修士課程において、卒業論文に取りあげた時代区分と別の時代を専攻したいとの希望のある学生は、上記以外に希望の時代をテーマとしたレポートを4,000字（400字×10枚）以内にまとめ、提出すること	

### ◆博士後期課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門試験科目 国語学・国文学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験
専攻指定の 出願書類	1. 本学出身者 修士論文の要旨を原稿用紙4,000字（400字×10枚）以内にまとめたもの 1部 他大学出身者 修士論文（コピー可） 1部		

## 人文科学研究科（英米文学専攻）

### ◆修士課程

試験日	1日目			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	3時限 14:00～15:10	10:00～
試験科目	専門試験科目 英文解釈Ⅰ・Ⅱ および英作文	専門選択試験科目 英文学 } 米文学 } 1科目選択 英語学 }	外国語選択試験科目 独語 } 1科目選択 仏語 } (辞書使用可)	面接試験

### ◆博士後期課程

試験日	1日目			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	3時限 14:00～15:10	10:00～
試験科目	専門試験科目 英文解釈Ⅰ・Ⅱ および英作文	専門選択試験科目 英文学 } 米文学 } 1科目選択 英語学 }	外国語選択試験科目 独語 } 1科目選択 仏語 } (辞書使用可)	面接試験
専攻指定の 出願書類	1. 修士論文(コピー可) 1部			

## 人文科学研究科（地理学専攻）

### ◆修士課程

試験日		1日目		2日目
試験時間		1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目 (注1)	9月試験	専門試験科目 地理学	外国語試験科目 英語	面接試験
	2月試験	外国語試験科目 英語	/	面接試験
専攻指定の出願書類 (2月試験のみ)		1. 「発表要旨」：図表を含めA4用紙2ページ以内にまとめたもの（パソコン等を使用して、1ページ1,000～1,500字程度） 1部		

- 注1. 9月試験および2月試験それぞれ試験科目が異なるので注意すること。
- 英語の試験は次の文献をもとに出題します。  
「Discovering Japan - A New Regional Geography -」(帝国書院) ISBN 978-4-8071-5844-7
  - 2月試験の面接試験は、卒業論文またはそれに準ずる研究成果の発表と質疑応答。  
発表制限時間：15～20分（パソコン、スライド、OHP、教材提示装置などの使用可）

### ◆博士後期課程

試験日	1日目	
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 13:30～
試験科目	外国語試験科目 英語	面接試験
専攻指定の出願書類	1. 「発表要旨」：図表を含めA4用紙3ページ以内にまとめたもの（パソコン等を使用して、1ページ1,000～1,500字程度） 1部	

- 注1. 地理学専攻博士後期課程の試験は、1日目のみとなります。
- 面接試験は、修士論文またはそれに準ずる研究成果の発表と質疑応答、ならびに英語以外の外国語（独語・仏語・中国語）の口述試験です。  
発表制限時間：20～25分（パソコン、スライド、OHP、教材提示装置などの使用可）  
外国語：志願票副票（S票）により届け出た1言語（独語・仏語・中国語、母語可）  
この他の外国語を希望する者は事前に教務部教務2係（03-3418-9116）に相談してください。

## 人文科学研究科（歴史学専攻）

### ◆修士課程（日本史学・東洋史学・西洋史学・考古学コース）

試験日	1日目			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30		2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	コース	専門試験科目	外国語試験科目	面接試験
	日本史学	歴史学一般	英語（辞書使用可）	
	東洋史学	歴史学一般	英語（辞書使用可）	
	西洋史学	歴史学一般	英語	
	考古学	歴史学一般	英語	
専攻指定の出願書類	1. 卒業論文の要旨を原稿用紙800字（400字×2枚）以内にまとめたもの（手書きのみ） 1部			

### ◆博士後期課程（日本史学・西洋史学・考古学コース）

試験日	1日目				2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30		2時限 12:30～13:40	3時限 14:00～15:10	10:00～
試験科目	コース	専門試験科目	外国語試験科目	外国語選択試験科目	面接試験
	日本史学	歴史学一般	英語 （辞書使用可）	史料解読	
	西洋史学	歴史学一般	英語	独語 } 1科目選択 仏語 } （辞書使用可）	
	考古学	歴史学一般	英語	独語 } 1科目選択 仏語 } （独語・仏語 中国語 } 辞書使用可）	
専攻指定の出願書類	1. 修士論文の要旨を原稿用紙800字（400字×2枚）以内にまとめたもの（手書きのみ） 1部				

注1. 平成24年度は東洋史学コースの博士後期課程は募集しません。

## 人文科学研究科（社会学専攻）

### ◆修士課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門試験科目 社会学・社会福祉学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験

### ◆博士後期課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門試験科目 社会学・社会福祉学	外国語試験科目 英語	面接試験
専攻指定の出願書類	1. 修士論文の要旨を原稿用紙 400 字×10 枚以上 20 枚以内（パソコン等出力可〔A4 用紙使用〕）にまとめたもの 2部		

## 人文科学研究科（心理学専攻）

### ◆修士課程 （心理学コース）

試験日	1日目（第1次試験）			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:10	2時限 11:30～12:40	16:00	10:00～
試験科目	専門試験科目 心理学	外国語試験科目 英語（辞書使用可・ 英和1冊）	第1次試験合格発表 （試験室にて発表）	面接試験 （第1次試験合格者のみ）
専攻指定の 出願書類	1. 研究計画書 1部（A4用紙 800字程度 32文字×25行）			

注1. 第1次試験合格発表は、筆記試験当日の午後4時に筆記試験の試験室に合格者の受験番号を掲示するとともに、駒澤大学のホームページ上でも当日の午後5時以降に合格者の受験番号を発表します。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

### （臨床心理学コース）

試験日	1日目（第1次試験）			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:10	2時限 11:30～12:40	16:00	10:00～
試験科目	専門試験科目 心理学	外国語試験科目 英語（辞書使用可・ 英和1冊）	第1次試験合格発表 （試験室にて発表）	面接試験 （第1次試験合格者のみ）
専攻指定の 出願書類	1. 研究計画書 1部（A4用紙 800字程度 32文字×25行）			

注1. 第1次試験合格発表は、筆記試験当日の午後4時に筆記試験の試験室に合格者の受験番号を掲示するとともに、駒澤大学のホームページ上でも当日の午後5時以降に合格者の受験番号を発表します。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

### ◆博士後期課程

試験日	1日目（第1次試験）			2日目
試験時間	1時限 10:00～11:10	2時限 11:30～12:40	16:00	10:00～
試験科目	専門試験科目 心理学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	第1次試験合格発表 （試験室にて発表）	面接試験 （第1次試験合格者のみ）
専攻指定の 出願書類	1. 修士論文（コピー可） 1部 またはそれに準ずるもの			

注1. 第1次試験合格発表は、筆記試験当日の午後4時に筆記試験の試験室に合格者の受験番号を掲示するとともに、駒澤大学のホームページ上でも当日の午後5時以降に合格者の受験番号を発表します。  
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

## 経済学研究科（経済学専攻）

### ◆修士課程 （研究コース）

試験日	1日目			2日目	
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	3時限 14:00～15:10	10:00～	
試験科目	専門選択試験科目 理論経済学 （マルクス経済学） 理論経済学 （近代経済学） 経済史 経済政策 財政学 各国経済論	1科目選択	専門試験科目 経済学一般	外国語試験科目 英語 （辞書使用可）	面接試験

### （税制・財務コース）

試験日	1日目	2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	10:00～
試験科目	専門試験科目 租税法	面接試験

### ◆博士後期課程

試験日	1日目	2日目	
試験時間	1時限 10:00～11:30	10:00～	
試験科目	外国語選択試験科目 英語 独語 仏語 中国語 露語	1科目選択 （母語を除く・辞書使用可）	面接試験
専攻指定の 出願書類	1. 修士論文（コピー可） 1部 2. 修士論文の要旨を原稿用紙 2,000 字（400 字× 5 枚）程度にまとめたもの 1部 3. 研究計画書（日本語の場合は A 4 用紙 1,000 字程度、英語の場合は A 4 用紙 750～800words とする） 1部		

注 1. 修士論文の提出をもって専門試験に替える。

## 商学研究科（商学専攻）

### ◆修士課程

試験日	1 日目		2 日目
試験時間	1 時限 10 : 00 ~ 11 : 30	2 時限 12 : 30 ~ 13 : 40	10 : 00 ~
試験科目	専門選択試験科目 会计学 } 商学 } 1 科目選択 経営学 } 租税法 }	外国語選択試験科目 英語 } 1 科目選択 日本語 } (母語を除く・辞書使用可)	面接試験

- 注 1. 専門選択試験で選択した科目が入学後の専修科目となります。
2. 専門選択試験科目は、希望する指導教員の分野の科目を受験してください。  
租税法特講（演習）を専修科目とする学生は、「租税法」または「会计学」から選択してください。
3. 指導教員の分野については『指導教員一覧』を参照してください。
4. 会计学は、ソロバン・電卓（計算機能のみの機種に限る）の使用可。
5. 日本語は、外国人留学生に限り選択可。

### 【入学後に希望する論文指導の選択について】

- \* 入学後に希望する論文指導方法（修士論文または課題研究）を選択し、入学志願書に記入してください。
- \* 修士論文は 40,000 字以上、課題研究は 20,000 字以上です。修士論文の場合の修了必要単位数は 30 単位以上、課題研究の場合の修了必要単位数は 36 単位以上です。
- \* 本学商学研究科において、将来、税理士試験の科目免除を希望する者は修士論文を選択してください。

### ◆博士後期課程

試験日	1 日目		2 日目
試験時間	1 時限 10 : 00 ~ 11 : 30		10 : 00 ~
試験科目	外国語選択試験科目 英語 } 1 科目選択 日本語 } (母語を除く・辞書使用可)		面接試験
専攻指定の出願書類	1. 修士論文の要旨を原稿用紙 2,000 字（400 字×5 枚・パソコン等出力可 [A 4 用紙使用]）程度にまとめたもの 3 部 2. 他大学出身者のみ修士論文（写し可） 3 部		

- 注 1. 修士論文の提出をもって専門試験に替える。
2. 日本語は、外国人留学生に限り選択可。

## 法学研究科（公法学専攻・私法学専攻）

### ◆修士課程

試験日	1日目		2日目																																							
試験時間	1時限 10:00～12:30		10:00～																																							
試験科目	主専攻科目	外国語・選択科目	面接試験																																							
	<table border="0"> <tr> <td rowspan="7">公法学</td> <td>憲法</td> <td rowspan="7">} 1科目選択</td> <td rowspan="14">} 1科目選択</td> </tr> <tr> <td>行政法</td> </tr> <tr> <td>刑法</td> </tr> <tr> <td>刑事訴訟法</td> </tr> <tr> <td>国際公法</td> </tr> <tr> <td>法史学（西洋）</td> </tr> <tr> <td>法哲学</td> </tr> <tr> <td>租税法</td> </tr> <tr> <td>社会保障法</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">私法学</td> <td>民法（家族法）</td> <td rowspan="7">} 1科目選択</td> </tr> <tr> <td>民法（財産法）</td> </tr> <tr> <td>商法</td> </tr> <tr> <td>労働法</td> </tr> <tr> <td>民事訴訟法</td> </tr> <tr> <td>民事執行・保全法</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table>	公法学		憲法	} 1科目選択	} 1科目選択	行政法	刑法	刑事訴訟法	国際公法	法史学（西洋）	法哲学	租税法	社会保障法	私法学	民法（家族法）	} 1科目選択	民法（財産法）	商法	労働法	民事訴訟法	民事執行・保全法		<table border="0"> <tr> <td rowspan="14">} 1科目選択</td> <td>英語（辞書使用可）</td> </tr> <tr> <td>独語（辞書使用可）</td> </tr> <tr> <td>仏語（辞書使用可）</td> </tr> <tr> <td>日本語（辞書使用可）</td> </tr> <tr> <td>憲法</td> </tr> <tr> <td>行政法</td> </tr> <tr> <td>刑法</td> </tr> <tr> <td>刑事訴訟法</td> </tr> <tr> <td>国際公法</td> </tr> <tr> <td>法史学（西洋）</td> </tr> <tr> <td>法哲学</td> </tr> <tr> <td>租税法</td> </tr> <tr> <td>社会保障法</td> </tr> <tr> <td>民法（家族法）</td> </tr> <tr> <td>民法（財産法）</td> </tr> <tr> <td>商法</td> </tr> <tr> <td>労働法</td> </tr> <tr> <td>民事訴訟法</td> </tr> <tr> <td>民事執行・保全法</td> </tr> </table>	} 1科目選択	英語（辞書使用可）	独語（辞書使用可）	仏語（辞書使用可）	日本語（辞書使用可）	憲法	行政法	刑法	刑事訴訟法	国際公法	法史学（西洋）	法哲学	租税法	社会保障法	民法（家族法）	民法（財産法）	商法	労働法
公法学	憲法		} 1科目選択	} 1科目選択																																						
	行政法																																									
	刑法																																									
	刑事訴訟法																																									
	国際公法																																									
	法史学（西洋）																																									
	法哲学																																									
租税法																																										
社会保障法																																										
私法学	民法（家族法）	} 1科目選択																																								
	民法（財産法）																																									
	商法																																									
	労働法																																									
	民事訴訟法																																									
	民事執行・保全法																																									
} 1科目選択	英語（辞書使用可）																																									
	独語（辞書使用可）																																									
	仏語（辞書使用可）																																									
	日本語（辞書使用可）																																									
	憲法																																									
	行政法																																									
	刑法																																									
	刑事訴訟法																																									
	国際公法																																									
	法史学（西洋）																																									
	法哲学																																									
	租税法																																									
	社会保障法																																									
	民法（家族法）																																									
民法（財産法）																																										
商法																																										
労働法																																										
民事訴訟法																																										
民事執行・保全法																																										

- 注1. 主専攻科目で選択した科目が入学後の専修科目となります。入学志願票（S票）の「専門選択試験科目」欄に科目を記入してください。「民法」を主専攻科目として受験する者のうち、入学後、民法（家族法）を専修科目とする者は「家族法」の問題を選択してください。入学後、民法（財産法）を専修科目とする者は、「財産法」の問題を選択してください。
2. 外国語は、母語を除く（日本語は外国人留学生に限り選択可）。語学辞書は使用可。六法全書、判例集の使用は出来ません。
3. 外国語にかえて主専攻科目以外の科目を1科目選択することができます。ただし、同分野の科目を選択することはできません。入学志願票（S票）の「外国語・選択試験科目」欄には、選択した「外国語」または「専門の選択科目名」を記入してください。
4. 「国際公法」を専攻する者は、必ず外国語のうち1科目を選択しなければなりません。

### ◆博士後期課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30		10:00～
試験科目	公法学	外国語選択試験科目 英語 } 独語 } 1科目選択 仏語 } (母語を除く) 日本語 }	面接試験
	私法学		
専攻指定の出願書類	公法学	1. 修士論文（コピー可） 1部	3部
	私法学	2. 修士論文の要旨を原稿用紙2,000字（400字×5枚）程度にまとめたもの	

- 注1. 修士論文および同要旨をもって専門試験に替える。
2. 日本語は、外国人留学生に限り選択可。

## 経営学研究科（経営学専攻）

### ◆修士課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門選択試験科目 経営学 経営科学 会計学（簿記・会計学） 経済学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験
専攻指定の出願書類	1. 研究計画書（本学所定用紙） 1部		

- 注 1. 専門選択試験科目は、希望する指導教員の分野の科目を受験してください。  
 2. 指導教員の分野については『指導教員一覧』を参照してください。  
 3. 会計学（簿記・会計学）は、ソロバン・電卓（計算機能のみの機種に限る）の使用可。  
 4. 租税法特講（演習）の受講を希望する者は、会計学（簿記・会計学）を選択してください。

### ◆博士後期課程

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門選択試験科目 経営学 } 会計学 } 1科目選択	外国語試験科目 英語	面接試験
専攻指定の出願書類	1. 修士論文（コピー可） 1部 2. 修士論文の要旨を原稿用紙 2,000字（400字×5枚）以内にまとめたもの 1部		

## 医療健康科学研究科（診療放射線学専攻）

### ◆修士課程（診療画像学コース・医用計測学コース共通）

試験日	1日目		2日目
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	10:00～
試験科目	専門試験科目 診療放射線学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験
専攻指定の 出願書類	1. 研究計画書（卒業研究または卒業研究に相当するものを履修した者は、その概要を含めて記載する） 2,000字以内（A4用紙パソコン可） 1部		

### ◆博士後期課程（診療画像学コース・医用計測学コース共通）

試験日	1日目		
試験時間	1時限 10:00～11:30	2時限 12:30～13:40	14:30～
試験科目	専門試験科目 診療放射線学	外国語試験科目 英語（辞書使用可）	面接試験
専攻指定の 出願書類	1. 研究計画書（2000字以内。修士課程修了者は修士論文の概要、それ以外の者は過去の研究の概要を含める。） 2. 診療放射線技師免許を有さない志願者（本研究科修士課程修了者を除く）は本研究科を志望する理由書（600字程度）		